



栗原小だより

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <https://e-kurihara-c-niiza.edumap.jp/>



～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

令和6年度3月号
令和7年2月28日

令和6年度を振り返って

校長 古澤 健史

【ライブハウス栗小へようこそ】

令和6年度は、満開の桜とチューリップに祝福されてスタートしました。

2年生から6年生が、栗っ子の仲間入りをする1年生を温かく迎え、全員で歌って踊った「大きな栗の木の下」が壮観だった「1年生を迎える会」。灼熱の夏が予感された5月の晴天の中、木陰を探し校庭でおいしいお弁当を食べて、先生たちが出すゲームに盛り上がった「なかよしピクニック弁当」。真剣に競技をする栗っ子、応援団を中心に全力で応援する栗っ子、撮影場所や観覧場所の譲り合いや温かい拍手と声援が当たり前のように見られる保護者の皆様や地域の方々、競技をしていなくても皆が参加して作り上げた運動会。自分以外の学年の歌や演奏をお互いに披露し合い、音楽の楽しさや素晴らしさを感じられ、今年は晴れ姿をたっぴりと保護者の皆様に披露することができた「校内音楽発表会」。箱根駅伝に負けなくらいコースの沿道が、保護者の皆様や地域の方々の温かい声援と応援でいっぱいとなる中で、自分たちの持てる力で精一杯駆け抜けた「校内持久走大会」。行事だけでなく、日々の学習や生活の中でも子どもたちは大きく成長しました。

栗っ子たちの活躍を見守り支えていただいた保護者の皆様、地域の皆様、そして教職員も含め、栗小に関わっていただいたすべての皆様に感謝いたします。

さて、いよいよ今年度も残りあと1ヶ月となりました。伝統のタスキを受け継ぎ、栗小を引っ張ってきた6年生が、卒業します。1～5年生は、「6年生を送る会」で感謝の気持ちを伝え、次代を引き継ぐ決意を6年生に披露します。毎年行われる行事ですが、いつも違う新鮮な感動があります。近年、学校ではこのような縦割り活動や学年を越えた子どもたちの絆を深めるための行事が、削減されたり簡略化されたりしてきている現状があります。毎日の授業時間

数は、子どもたちの生活に合っているのかという「カリキュラム・オーバーロード」ということが言われ、授業時間数の削減が学校に求められるようになってきました。次期学習指導要領の改訂に向けて、文部科学省が子どもたちの意見も取り入れていくというのは、そういうことも反映してのことだと思います。

本校でも懇談会やお手紙等でお知らせしたように、来年度から授業時間の削減を行っていきます。

下級生が大事にされ、上級生が尊敬されるという、本校の良い伝統を支えているのは、縦割り活動や学年を越えた子どもたちの絆を深める行事だと考えています。子どもたちが学校で過ごす時間が、学習面でも生活面でも豊かなものであり続けるように、残すべきものは残していきたいと考えています。

さて、2月には6日にドレミハミルさん、20日にウルフルズのウルフルケイスケさんによる音楽鑑賞教室が行われました。ステージの飾りつけの準備や片づけ、アイドルの推し活顔負けの応援グッズを用意していただいたPTAの皆様、ありがとうございました。子どもたちも立ち上がり、手拍子や体全体でリズムを取りながら、ステージ前に集まり、大盛り上がりの中で音楽を楽しみました。そのライブの中で、ウルフルケイスケさんの言った言葉が心に残りました。「音楽は、心のワクチンです。しかもこのワクチンは何度でも打つことができます。」と。副反応も依存症も気にせず、みんな元気になれる音楽って最高ですね。

